

# 自然と人との調和を目指す。

## ごあいさつ

江別市は、資源循環型社会の形成に向けて、環境への負荷を極力少なくする「環境と調和する都市の構築」を目標としてまちづくりを進めようとしております。

昭和56年4月から稼働しておりました焼却処理施設は、老朽化による処理能力の低下あるいは、平成14年12月からの排ガスの排出規制に対応するため、平成12年度から3ヵ年事業で新しい施設の建設を進めて参りました。

いまここに、完成しました「江別市環境クリーンセンター(くるりん)」は、江別市の廃棄物処理フローにおける重要な役割を担う技術の粋を結集した最新の施設であります。

本施設は、ごみ熱分解・燃焼溶融方式で、まずごみの中から資源物を取り出し再資源化するとともに、ごみの持つエネルギーにより燃焼溶融を行い、最大1,980kwの発電、ロードヒーティング、冷暖房などの施設内外への余熱供給など、エネルギーの有効活用を考慮した施設となっております。

また、公害のない安全な施設に心がけ、環境に配慮した厳しい目標数値を掲げる一方、運転中の排ガスデータの常時表示を行う電光表示盤の設置をするなどの配慮を行っております。

さらに不燃・粗大ごみの破碎施設を併置することにより、可能な限りの資源化を進めるとともに埋立処分場への負荷を大幅に軽減することにより、平成14年度から2ヵ年事業で進めております埋立処分地施設の面積、容量など施設のコンパクト化を可能としたところであります。

最後になりますが本施設の建設にあたりましては、深いご理解とご協力を賜りました地元の皆様あるいは隣接する地域の方々をはじめ、多大のお力添えを賜りました関係各位に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、ごあいさつといたします。

江別市長



### 施設概要

施設名称	江別市環境クリーンセンター(愛称:くるりん)
所在地	北海道江別市八幡122番地
敷地面積	41,800m <sup>2</sup> (都市計画決定面積 74,300m <sup>2</sup> )
建築面積	6,955m <sup>2</sup> (延べ面積10,535m <sup>2</sup> )
建築規模	工場棟・管理棟 地下1階、地上6階/計量棟/洗車棟
着工	平成12年9月30日
竣工	平成14年11月30日
施工主	江別市
設計・施工	三井造船・三井建設・船木 共同企業体
施工監理	株式会社ドーコン

### 施設規模と処理対象物

ごみ熱分解・燃焼溶融施設	…可燃ごみ140トン/日(70トン/日×2炉)
不燃・粗大ごみ処理施設	…不燃・粗大ごみ35トン/5時間

### 発電設備

1. 発電能力 1,980kW
2. 設備構成 廃熱ボイラ ……2基  
抽気復水式蒸気タービン ……1基

### 排ガス等排出目標値

1. ダイオキシン類 0.05ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>以下
2. ばいじん 0.01g/Nm<sup>3</sup>以下
3. 硫黄酸化物 K値=3以下
4. 塩化水素 100mg/Nm<sup>3</sup>以下
5. 窒素酸化物 50 cm<sup>3</sup>/Nm<sup>3</sup>以下
6. 一酸化炭素 30ppm以下  
(乾きガス基準、酸素濃度12%換算値)



施設配置図